

環境目的・目標達成状況評価表（平成19年度）

作成年月日：平成20年5月16日

環境管理責任者	ISO事務局長
	

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価

（施策）樽前山麓の森林の保全、育成、充実を図る

森林の働きを十分に発揮させるため、人工林を針広混交複層林へ誘導する	◎：6目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	1	「苫小牧市森林整備計画」の周知等、市内の森林整備の方針について広く市民に周知する	上期	市内の森林整備の方針について、植樹祭や講演会等の際に周知を行う	5月に行われた市民植樹祭で参加者の皆様にお話をした	◎	緑地公園課	◎	
					下期	市内の森林整備の方針について、植樹祭や講演会等の際に周知を行う	講演会等がありませんでした。	—			
				2	産官学民の連携により、間伐材等を有効利用する木質バイオマスエネルギーについて、実用性の可能性について研究する	上期	苫小牧バイオマス研究会に参加し、実用性の可能性について研究する	トウモロコシの実験栽培をスタートさせた	◎	空港港湾課	◎
						下期	苫小牧バイオマス研究会に参加し、実用性の可能性について研究する	資源用トウモロコシを利用した大規模バイオエタノール製造拠点形成推進事業が今年度から3年間、バイオ燃料化方策を検討することになった	◎		
				3	森林機能の充実が図られるよう、必要に応じ森林所有者に対し指導等を行う	上期	台風被害の復旧等を通じ森林機能の充実が図られるよう、森林組合と連携して指導を行う	11月に予定している	—	緑地公園課	◎
						下期	台風被害の復旧等を通じ森林機能の充実が図られるよう、森林組合と連携して指導を行う	11月に森林機能の充実が図られるよう主な所有者に対し指導を実施した	◎		
				4	市内国有林について、関係機関との連携協力により、間伐実施や針広混交林への計画的移行を進め、機能充実を図る	上期	関係機関からの要請に応じ、協力をを行う	5月に関係機関からの要請で国有林内のゴミ拾いを実施した	◎	緑地公園課	◎
						下期	関係機関からの要請に応じ、協力をを行う	11月に関係機関からの要請で国有林内のゴミ拾いを実施した	◎		
				5	緑地保全のため、条例により開発行為の規制及び指導を行う	上期	条例の周知とともに、申請のあった都度審査を行うとともに、必要に応じ指導を行う	開発行為の申請が一件あり、審査、指導、許可を行った	◎	環境生活課	◎
						下期	条例の周知とともに、申請のあった都度審査を行うとともに、必要に応じ指導を行う	開発行為の申請はなかった	—		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			6	開発行為の際に必要な法、条例等の規制について広く周知し、関係機関連携のもと指導にあたる	上期	法の周知とともに、届出審査、指導及び調査等並びに関係機関等の連絡調整の実施	関係事業者に市HPの確認を要請し、関係資料を配布して周知徹底を図った	◎	開発管理課	◎
					下期	法の周知とともに、届出審査、指導及び調査等並びに関係機関等の連絡調整の実施	関係事業者に市HPの確認を要請し、関係資料を配布して周知徹底を図った	◎		
森林ボランティアの活動により森林の荒廃を防ぐ思想を育てる	◎：1目標 ○：0目標 —：1目標 ×：0目標	◎	7	森林ボランティアの活動機会を創出し、情報提供を行う	上期	・関係機関との連携により、活動機会を設ける。 ・関係機関からの要請に応じ、市民周知を実施する	5月の市民植樹祭に参加していた たき森林復旧の協力を受けた	◎	緑地公園課	◎
					下期	関係機関からの要請に応じ、市民周知を実施する	関係機関からの要請はなかった	—		
			8	国や道が実施する森林ボランティア養成事業に、要請に応じ協力を行う	上期	関係機関からの要請に応じ、可能な範囲内で協力を行う	関係機関からの要請はなかった	—	緑地公園課	—
					下期	関係機関からの要請に応じ、可能な範囲内で協力を行う	関係機関からの要請はなかった	—		

（施策） 苫小牧東部地域の森林の保全と里山的利用を進める

苫小牧東部地域の開発にあたっては、森林の連続性を確保しながら保全していく	◎：2目標 ○：0目標 —：3目標 ×：0目標	◎	9	関係行政機関や活動団体の調査研究結果の収集を行う	上期	自然保護に有用な調査研究結果の収集を行う	苫東柏原、苫東共和の特定猟具使用禁止区域の期間更新の意向調査のため日本野鳥の会等から意見等の収集を行った	◎	環境生活課	◎
					下期	自然保護に有利な調査研究結果の収集を行う	日本野鳥の会から情報収集を行った	◎		
			10	関係機関連携のもと、苫小牧東部地域に係る環境影響評価書及び市の基本方針に基づき、東部地域の自然環境を保全する	上期	市の基本方針を広く周知するとともに、工場等の新增設がある場合、方針が遵守されるよう関係部署と調整を行う	問題となる工場等の新たな増設はなかった	—	空港港湾課	—
					下期	市の基本方針を広く周知するとともに、工場等の新增設がある場合、方針が遵守されるよう関係部署と調整を行う	問題となる工場等の新たな増設はなかった	—		

環境目的達成状況			環境目標達成状況										
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価				
			11	「苫小牧市企業立地振興条例」に基づく緑化助成制度の継続と、周知に努め、緑化の推進を図る	上期	東部地域で新增設を行う企業に対し、緑地の確保を促すとともに、緑化助成制度の周知を行い、緑化保全を推進する	東部地域進出企業に対して、緑化助成の周知を5回行い、緑化保全を推進した	◎	企業誘致主幹	◎			
					下期	東部地域で新增設を行う企業に対し、緑地の確保を促すとともに、緑化助成制度の周知を行い、緑化保全を推進する	東部地域進出企業に対して、緑化助成の周知を3回行い、緑化保全を推進した	◎					
			12	苫小牧東部開発に関する市の基本方針見直しにあたっては、市民意見反映の機会を設ける	上期	基本方針見直しが生じた際は、市民意見反映の機会を設ける	方針の見直しはなかった	—	空港港湾課	—			
					下期	基本方針見直しが生じた際は、市民意見反映の機会を設ける	方針の見直しはなかった	—					
			13	苫小牧市企業立地審議会条例に基づき、市民意見を反映させる	上期	条例に該当する工場等の新增設がある場合、市民も参加する審議会において、調査審議を行う	条例に該当する工場等の新たな増設はなかった	—	空港港湾課	—			
					下期	条例に該当する工場等の新增設がある場合、市民も参加する審議会において、調査審議を行う	条例に該当する工場等の新たな増設はなかった	—					
			苫小牧東部地域の森林を、市民の学習やいこの空間として里山的利用を進める	◎：1目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	14	苫小牧東部地域の広域公園実現にむけた働きかけを継続する	上期	関係機関への働きかけの実施	企画調整部から7月に「国・道及び関係機関に対する重点要望事項」として要望している。企画のHPにも掲載した	◎	緑地公園課	◎
								下期	実施予定なし	実施予定なし	◎		

（施策）森林公園など市街地周辺の大規模な自然緑地を保全する

森林公園など市街地周辺の森林機能の充実を進めるとともに、自然生態系が維持されるよう周辺生態系も含めて保全する	◎：4目標 ○：0目標 —：2目標 ×：0目標	◎	15	市民の参加・協力を得ながら、森林公園等市街地周辺の森林整備を行う	上期	関係機関との連携により植樹を行う	風倒木被害地50haの内、今年度は9月までに5haが完成の予定	◎	緑地公園課	◎
					下期	実施予定なし	実施予定なし	◎		
			16	緑化推進基金の活用やクリーンアップサポーター制度の推進等により、技術支援も含めて市民の活動支援を行う	上期	市民団体等から相談の都度、制度への登録を促すとともに、可能な範囲で活動支援を行う	緑化推進基金は、公共用地での植栽等の費用、またクリーンアップサポーター制度により市民が維持管理（一部）を実施した	◎	緑地公園課	◎
					下期	市民団体等から相談の都度、制度への登録を促すとともに、可能な範囲で活動支援を行う	緑化推進基金は、公共用地での植栽等の費用、またクリーンアップサポーター制度により市民が維持管理（一部）を実施した。下期は1団体追加	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況										
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価					
			17	郵便局及び北海道・警察・土現等との連携による不法投棄防止対策の実施	上期	郵便局及び北海道・警察・土現等との連携による不法投棄防止対策の実施	実施がなかった	—	清掃事業課	—			
					下期	郵便局及び北海道・警察・土現等との連携による不法投棄防止対策の実施	実施がなかった	—					
			18	清掃指導員及び不法投棄パトロール員による巡回実施	上期	清掃指導員及び不法投棄パトロール員による巡回実施	市内全域の巡回を実施した	◎	清掃事業課	◎			
					下期	清掃指導員及び不法投棄パトロール員による巡回実施	市内全域の巡回を実施した	◎					
			19	新聞等による周知、啓発の実施	上期	新聞等による周知、啓発の実施	不法投棄多発地域への防止看板、及び鳥居を設置した	◎	清掃事業課	◎			
					下期	新聞等による周知、啓発の実施	不法投棄多発地域への看板設置しパトロールを強化した	◎					
			20	緑地保全のため、条例により開発行為の規制及び指導を行う	上期	条例の周知とともに、申請のあった都度審査を行うとともに、必要に応じ指導を行う	開発行為の申請はなかった	—	環境生活課	—			
					下期	条例の周知とともに、申請のあった都度審査を行うとともに、必要に応じ指導を行う	開発行為の申請はなかった	—					
			森林公園など市街地周辺の森林を、生息する動植物と人間が自然の中でふれあいを持てるような場として活用する	◎：1目標 ○：0目標 —：1目標 ×：0目標	◎	21	苫小牧東部地域の広域公園実現にむけた働きかけを継続する	上期	関係機関への働きかけの実施	企画調整部から7月に「国・道及び関係機関に対する重点要望事項」として要望している。企画のHPにも掲載した	◎	緑地公園課	◎
								下期	実施予定なし	実施予定なし	◎		
22	緑の基本計画に基づき、場所の提供や人材づくり等を進め、身近な森林での環境学習を推進する	上期				学校等からの要請により、人材の情報提供等、可能な範囲内で活動支援を行う	要請はなかった	—	緑地公園課	—			
		下期				学校等からの要請により、人材の情報提供等、可能な範囲内で活動支援を行う	要請はなかった	—					

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価

(施策) 苫小牧のおいしい水を守る

水源周辺の森林内容の充実や立ち入りの制限、廃棄物の不法投棄防止など水源の汚染防止対策を進める	◎：8目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	23	水源周辺の国有林について、関係機関との連携協力により、間伐実施や針広混交林への計画的移行を進め、機能充実を図る	上期	実施予定なし	実施がなかった	◎	緑地公園課	◎
					下期	関係部署連携のもと、台風被害復旧や移行計画について、国有林野所在地市町村長協議会で要望を行う	10月の国有林野等所在地市町村長有志協議会で要請を行う	◎		
			24	水源周辺の森林保全と機能充実を図るため、国有林の台風被害復旧や針広混交林への計画的移行などについて関係機関に働きかけを行う	上期	実施予定なし	実施がなかった	◎	(水) 建設課	◎
					下期	台風被害復旧や移行計画について、国有林野所在地市町村長協議会で要望を要請する	台風被害報告について10月に緑地公園課を経由して要望書を提出した	◎		
			25	水源のパトロール体制を強化し、定期的なパトロールと清掃を行う	上期	定期的なパトロールの実施	計画どおり実施した	◎	高丘浄水場	◎
					下期	定期的なパトロールの実施	計画どおり実施した	◎		
			26	水源のパトロール体制を強化し、定期的なパトロールと清掃を行う	上期	定期的にパトロールを実施して、水源の環境監視をおこなう	週1回のパトロールを実施した。「水を汚染から守る会」で河川清掃を実施した	◎	錦多峰浄水場	◎
					下期	定期的にパトロールを実施して、水源の環境監視をおこなう	週1回のパトロールを実施した。「水を汚染から守る会」で河川清掃を実施した	◎		
			27	要綱の趣旨を周知し、また事前協議を行うことにより、不法投棄や汚染水の排水などによる水源の汚染を未然に防止する	上期	市広報紙及び水道部HPにより周知。	上下水道部HPに公開した	◎	(水) 建設課	◎
					下期	水道部広報紙「水だより」及び水道部HPにより周知	「水だより」22号を12月に発行。上下水道部HPに公開した	◎		
			28	水源に影響を及ぼすと考えられる箇所との把握とともに、ゴミの投げ捨てや汚濁水流入防止など水源汚染防止対策を計画的に進める	上期	影響箇所の把握	月に1回実施している河川流量観測時に併せ、環境箇所の把握に努めた	◎	(水) 建設課	◎
					下期	汚染防止対策の検討	橋上からのゴミの投棄を防止するため錦岡橋及び樽前橋に投棄防止策を設置した	◎		
			29	「水を汚染から守る会の連絡協議会」の水源の年1回以上の清掃活動に参加・協力を行う	上期	連絡協議会の清掃活動に対し、積極的に参加・協力を行う	連絡協議会からの要請により、積極的に参加、協力を行った	◎	(水) 給水課	◎
					下期	連絡協議会の清掃活動に対し、積極的に参加・協力を行う	要請はなかった	—		

環境目的達成状況			環境目標達成状況						
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価	
			30	水道見学会や「丸山水源の森」の植樹会などを実施し、水源と森林保全の重要性を体験することにより周知を図る	上期 水道施設見学会の実施 下期 実施予定なし	高丘浄水場と周辺の見学会、及び錦多峰浄水場の一般公開を実施した 実施予定なし	◎ ◎	(水) 建設課	◎

(施策) 河川の良い環境を保全する

河川への排水や廃棄物の不法投棄などに対する規制を強化し、多様な生物の生息環境を創造する	◎：8目標 ○：0目標 —：1目標 ×：0目標	◎	31	各種法令・条例の周知および指導により、河川の水質環境を保全する。	上期	公害苦情の対応を実施し、必要に応じ関係機関との連絡調整を行う	河川課からの要求で、樽前山周辺で2件の水質調査を行った	◎	環境保全課	◎
					下期	公害苦情の対応を実施し、必要に応じ関係機関との連絡調整を行う	特に大きな苦情はなかった	—		
			32	水洗化を促すため、未水洗化世帯に対する指導を行う。	上期	未水洗化世帯に対し、水洗化に係る文書通知や貸付制度のPRを行い、下水道供用開始後の水洗化を促進する	受益者負担金の納入礼督促のための電話や文書による催告時に水洗化のPR等を行った	◎	(下)総務課	◎
					下期	未水洗化世帯に対し、水洗化に係る文書通知や貸付制度のPRを行い、下水道供用開始後の水洗化を促進する	受益者負担金の納入督促時に併せてPRも行った	◎		
			33	可能な範囲内で、河川のパトロール及び対象事業所等への立入調査を実施し指導を行う。	上期	河川の目視調査及び対象事業所等への立入調査を可能な範囲内で行う	外勤途中に、河川の目視調査を実施。また数箇所の事業所の調査を実施。不法投棄等はなし	◎	(下)施設管理課	◎
					下期	河川の目視調査及び対象事業所等への立入調査を可能な範囲内で行う	外勤途中に、河川の目視調査を実施。また数箇所の事業所の調査を実施。不法投棄等はなし	◎		
			34	その都度可能な範囲で支援を行う。	上期	その都度可能な範囲で支援を行う	まちをきれいにする日で河川のある町内会は、河川付近の清掃活動を実施。活動に際し、ごみ袋の提供、収集の支援を行った	◎	清掃事業課	◎
					下期	その都度可能な範囲で支援を行う	まちをきれいにする日で河川付近の清掃活動を実施。活動に際しごみ袋の提供、収集支援を行った	◎		
			35	活動実態の把握とともに、アダプトプログラムの導入等活動支援策の検討を行う。	上期	市民等からの要請に応じ、可能な範囲で支援を行う	要請がなかった	—	河川課	—
					下期	市民等からの要請に応じ、可能な範囲で支援を行う	要請がなかった	—		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			36	合流改善事業の計画的実施	上期	合流式下水道の改善が進むよう、事業内容を検討する	事業計画の策定を完了した	◎	(下) 計画課	◎
					下期	事業計画を具体化し、次年度の事業箇所を決定する	事業箇所の決定をした	◎		
			37	関係機関連携のもと、水質監視および指導を行い、結果を公表する。	上期	北海道の河川水質調査結果を把握する	平成18年度北海道の河川水質調査結果を把握している。公表は環境白書により下期に行う	◎	環境保全課	◎
					下期	北海道の河川水質調査結果を把握する	H18年度北海道の河川水質調査結果を環境白書に掲載した。	◎		
			38	関係機関との連携のもと、美々川流域・安平川流域における自然再生事業を推進する。	上期	連絡協議会等へ参加をする。また、関係機関からの要請に応じ、可能な範囲で協力を行う	安平川整備計画における検討委員会へ参加した	◎	河川課	◎
					下期	連絡協議会等へ参加をする。また、関係機関からの要請に応じ、可能な範囲で協力を行う	安平川整備計画の説明会において、今後のスケジュール、及び問題点を協議した	◎		
			39	美々川流域の北海道自然環境保全地域の指定実現に向け、関係機関との調整、働きかけを行う。	上期	必要に応じ、関係機関との調整、働きかけを行う	美々川流域自然環境保全方策検討会(北海道主催)の構成員として現地調査、意見交換を3回行った	◎	環境生活課	◎
					下期	必要に応じ、関係機関との調整、働きかけを行う	道の担当課より進捗状況についての情報収集及び早期実現の要請を行った	◎		

(施策) 生態系に配慮した、親水機能を備えた河川整備を進める

生態系に配慮し、河川を生き物とふれあえる親水空間として整備する	◎：1目標 ○：1目標 —：3目標 ×：0目標	○	40	河川整備の際には、環境基本計画との整合を図りながら河川整備基本方針を策定し公表する。	上期	方針策定を要する整備が生じた際、関係部署との連携のもとに実施する	方針策定を要する整備がなかった	—	河川課	—
					下期	方針策定を要する整備が生じた際、関係部署との連携のもとに実施する	方針策定を要する整備がなかった	—		
		41	河川整備の際には、住民の意見を取入れながら河川整備計画を策定し公表する。	上期	計画策定を要する整備が生じた場合に実施する	計画策定を要する整備がなかった	—	河川課	—	
				下期	計画策定を要する整備が生じた場合に実施する	計画策定を要する整備がなかった	—			
		42	市管理外の市内河川における河川整備計画策定の際、必要に応じ住民の意見を取り入れ公表を行うよう関係機関に働きかけを行う。	上期	計画策定を要する整備が生じた場合に実施する	計画策定を要する整備がなかった	—	河川課	—	
				下期	計画策定を要する整備が生じた場合に実施する	計画策定を要する整備がなかった	—			

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価		
			43	河川改修や整備の際には「北海道環境配慮指針」などを参考にしながら、生態系に配慮を行う。	上期	整備が生じた際に可能な範囲内で実施する	錦岡川、日新川で浚渫を行い、水の流れを確保し生態系に配慮した	○	河川課	○
					下期	整備が生じた際に可能な範囲内で実施する	錦岡川改修工事において、河床の段差をなくし、魚類等に配慮した改修を行った	○		
			44	関係機関との連携のもと、美々川流域・安平川流域における自然再生事業を推進する。	上期	連絡協議会等へ参加をする。また、関係機関からの要請に応じ、可能な範囲で協力を行う	安平川水系整備計画検討委員会に参加した	◎	河川課	◎
					下期	連絡協議会等へ参加をする。また、関係機関からの要請に応じ、可能な範囲で協力を行う	安平川水系整備計画検討委員会に参加した	◎		

（施策）多様な生物の生息環境である湿原とその周辺を一体的に保全する

湿原に親しみ、その価値を正しく認識して開発抑制を図るなど、保全に努める	◎：2目標 ○：1目標 —：2目標 ×：0目標	○	45	市民からの保全地区指定の申し出に対し、市自然環境保全条例に基づく検討を行うとともに、その結果の公表を行う。	上期	申し出の都度、検討を行う	保全地区指定の申し出はなかった	—	環境生活課	—
					下期	申し出の都度、検討を行う	保全地区指定の申し出はなかった	—		
			46	美々川流域の北海道自然環境保全地域の指定実現に向け、関係機関との調整、働きかけを行う。	上期	必要に応じ、関係機関との調整、働きかけを行う	美々川流域自然環境保全方策検討会（北海道主催）の構成員として現地調査、意見交換を3回行った	◎	環境生活課	◎
					下期	必要に応じ、関係機関との調整、働きかけを行う	道の担当課より進捗状況についての情報収集及び早期実現の要請を行った	◎		
			47	新たな保全対策の検討材料とするため、ウトナイ周辺の環境調査を計画的に実施する。	上期	実施予定なし	実施がなかった	—	環境生活課	○
					下期	調査実施のための予算計上を行う	予算の要求を行った	○		
			48	美々川水系調査をはじめウトナイ湖への流入河川の水質・水量のモニタリングを関係機関連携のもと継続して実施する。	上期	美々川と流水河川の水質調査を実施する	美々川で流入河川の水質調査を2回実施した	◎	環境保全課	◎
					下期	美々川と流水河川の水質調査を実施する	美々川と流入河川の水質調査を2回実施した。	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			49	関係機関との連携のもと、美々川流域・安平川流域における自然再生事業を推進する。	上 期	連絡協議会等へ参加をする。また、関係機関からの要請に応じ、可能な範囲で協力を行う	連絡協議会の開催がなかった	—	河川課	
					下 期	連絡協議会等へ参加をする。また、関係機関からの要請に応じ、可能な範囲で協力を行う	連絡協議会の開催がなかった	—		—

（施策）市民が身近にふれあえる緑豊かな都市公園づくりを進める

地域住民のニーズや特性にあった公園を住民参加で作成、管理運営を進める	◎：4目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	50	「緑の基本計画」に基づき、公園づくりに広く市民・事業者の声・アイデアを取り入れるためのしくみを検討する。	上 期	公園の新設や再整備の都度、必要に応じ、地域の町内会の意見聴取を行う	公園の新設や再整備の都度、地域の町内会から意見聴取を行い、整備した	◎	緑地公園課	◎
					下 期	公園の新設や再整備の都度、必要に応じ、地域の町内会の意見聴取を行う	公園の新設や再整備の都度、地域の町内会から意見聴取を行い、整備した	◎		
			51	緑の基本計画に基づき、公園整備を計画的に行う。	上 期	整備の実施	今年度の整備予定については、緑地公園課HP等で市民の皆様に周知した	◎	緑地公園課	◎
					下 期	整備の実施	今年度の整備予定については、緑地公園課HP等で市民の皆様に周知した	◎		
			52	郷土に合った樹種により、公園等の緑化を進める。	上 期	郷土の樹種による緑化整備実施	3公園（緑地含）で植栽を実施した	◎	緑地公園課	◎
					下 期	郷土の樹種による緑化整備実施	8公園（道路・公営住宅分）で植栽を実施した	◎		
			53	「トマコマイクリーンアップサポーター制度」を推進する。	上 期	制度の周知とともに、既存登録団体に必要に応じて支援を行う	HP等で制度の周知を図った。登録団体に公園の維持管理で使用する資材の支援を実施した	◎	緑地公園課	◎
					下 期	制度の周知とともに、既存登録団体に必要に応じて支援を行う	HP等で制度の周知を図った。登録団体に公園の維持管理で使用する資材の支援を実施した	◎		

（施策）街中の緑を地域ぐるみで守り育てる

公共施設や事業所敷地の緑化を、景観の向上を図りながら、地域ぐるみで推進する	◎：2目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	54	「緑の基本計画」の市民の認識を高めるための対策を講じる。	上 期	ホームページでの計画内容周知の他、事業推進により市民の認知度を高める	緑地公園課HP等で「緑の基本計画」を掲載し、市民に周知を図った	◎	緑地公園課	◎
					下 期	ホームページでの計画内容周知の他、事業推進により市民の認知度を高める	緑地公園課HP等で「緑の基本計画」を掲載し、市民に周知を図った	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			55	地域や学校の参加により、学校敷地等公共施設の緑化を進める。	上 期	市民植樹祭の実施や、町内会や学校への緑化支援の実施	5月に高丘森林公園内で第37回市民植樹祭を実施。また、20町内会と2団体及び24小中学校に対し、緑化樹木等の支援を実施した	◎	緑地公園課	◎
					下 期	地域や学校からの要請に応じ技術支援や、相談の受付実施	要請はなかった	—		

（施策）市街地を緑の回廊で結ぶ並木道の整備を進める

市街地周辺の森林と市街地の緑地を街路樹で結び、野鳥などを呼び込む緑の回廊として地域ぐるみで整備を進める	◎：3目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	56	郷土に合った樹種により、沿道及び公園等の緑化を進める。	上 期	郷土の樹種による緑化整備実施	3公園（緑地含）で植栽を実施した	◎	緑地公園課	◎			
					下 期	郷土の樹種による緑化整備実施	8公園（道路・公営住宅分）で植栽を実施した	◎					
			57	街路樹の維持管理を計画的に行う。	上 期	街路樹の維持管理実施	良好な景観を保つよう生垣の刈込みや除草を主体に実施した	◎	緑地公園課	◎			
					下 期	街路樹の維持管理実施	良好な景観を保つよう高木の剪定を実施	◎					
			58	「トマコマイクリーンアップサポーター制度」を推進する。	上 期	周知実施	周知実施	緑地公園課HP等で制度の周知を図った。登録団体に公園の維持管理等で使用する資材の支援を行った	◎	緑地公園課	◎		
							下 期	周知実施	緑地公園課HP等で制度の周知を図った。登録団体に公園の維持管理等で使用する資材の支援を行った			◎	
			大気汚染や騒音、塩害・風害等に対する緩衝機能を有する街路樹の充実を図る	◎：1目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	59	既存街路樹及び緑地帯の維持管理を計画的に行い、大気汚染や騒音等の緩衝機能を維持する。	上 期	既存街路樹や緑地帯の維持管理の実施	良好な景観を保つよう生垣の刈込みや除草を主体に実施した	◎	緑地公園課	◎
								下 期	既存街路樹や緑地帯の維持管理の実施	良好な景観を保つよう高木の剪定を実施	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価		
(施策) 海浜の自然環境を再生し、保全に努める										
海辺の多様な自然生態系を保全し、憩い遊べる海浜に再生する	◎：3目標 ○：0目標 —：1目標 ×：0目標	◎	60	関係機関との連携・協力により、漁礁や離岸堤設置、緩傾斜護岸整備など生態系保全対策を計画的に行う。	上期	漁協が行うマツカワ種苗放流事業に積極的に協力するとともに、関係機関と連携し、生態系保全対策事業が実施される場合は積極的に協力する	マツカワ種苗放流事業に伴い、漁協及び関係機関と共に放流種苗に標識の装着作業を実施。8月3日には伊達市から3万3千匹の種苗を移送して苫小牧沖に放流した	◎	農業水産課	◎
					下期	漁協が行うマツカワ種苗放流事業に積極的に協力するとともに、関係機関と連携し、生態系保全対策事業が実施される場合は積極的に協力する	事業の実施、要請はなかった	—		
			61	生態系調査など関係機関で実施する調査結果の把握を行う。	上期	関係機関が生態系調査を実施した場合は、結果報告書の提出を依頼する	関係機関による生態系調査の実施が無かった	—	農業水産課	◎
					下期	関係機関が生態系調査を実施した場合は、結果報告書の提出を依頼する	関係機関が海岸底生物調査を実施し、調査結果報告書が提出された	◎		
			62	関係機関との連携・協力により、離岸堤設置による海岸浸食防止対策等、自然環境保全対策を計画的に進める。	上期	自然環境保全対策に関する協議の機会があれば積極的に参加し、関係機関と連携・協力する	市内の河川工事の概要説明と工事に伴う諸問題に対応する河川工事連絡協議会に参加した	◎	農業水産課	◎
					下期	自然環境保全対策に関する協議の機会があれば積極的に参加し、関係機関と連携・協力する	関係機関からの要請はなかった	—		
海やそこに流れ込む川への廃棄物の不法投棄を防ぐとともに、ゴミのないきれいな海浜にする	◎：3目標 ○：1目標 —：1目標 ×：0目標	○	63	その都度可能な範囲で支援を行う。	上期	その都度可能な範囲で支援を行う	ボランティア団体等の清掃活動を実施。活動に際し、ゴミ袋の提供、収集の支援を行った	◎	清掃事業課	◎
					下期	その都度可能な範囲で支援を行う	ボランティア団体事業者の清掃活動を実施。活動に際しゴミ袋の提供、収集の支援を実施	◎		
			64	関係機関連携のもと、アダプトプログラムの導入等活動支援策の検討を行う。	上期	関係機関連携による周辺パトロールの強化及び海岸清掃を実施し、またアダプトプログラム導入の検討を実施する。	関係機関連携により、7/26に海岸清掃を実施。住民からの通報により9/7に海岸のゴミを撤去した	◎	河川課	○
					下期	関係機関連携による周辺パトロールの強化及び海岸清掃を実施し、またアダプトプログラム導入の検討を実施する	月1回の河川パトロールの際には、周辺海浜のパトロールもあわせて実施した	○		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価		
			65	新聞等による周知、啓発の実施。	上期	新聞等による周知、啓発の実施	不法投棄に対する啓発活動を行うとともに未然防止のためのパトロールを強化した	◎	清掃事業課	◎
					下期	新聞等による周知、啓発の実施	不法投棄未然防止のため啓発活動、パトロールを強化した	◎		
			66	郵便局及び北海道・警察・土現等との連携による不法投棄防止対策の実施。	上期	郵便局及び北海道・警察・土現等との連携による不法投棄防止対策の実施	実施がなかった	—	清掃事業課	—
					下期	郵便局及び北海道・警察・土現等との連携による不法投棄防止対策の実施	実施がなかった	—		
			67	清掃指導員及び不法投棄パトロール員による巡回実施。	上期	清掃指導員及び不法投棄パトロール員による巡回実施	市内全域の巡回を実施した	◎	清掃事業課	◎
					下期	清掃指導員及び不法投棄パトロール員による巡回実施	市内全域の巡回を実施した	◎		

（施策）海洋汚染の防止に努める

海域に放流される工場排水の水質改善や、船舶の航行にともなう油漏れ、あるいは新たな汚染物質への対応によって、海洋汚染対策を進める	◎：2目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	68	苫小牧市地域防災計画を実施する。	上期	海上災害予防計画の点検と関係機関及び部署との連携により、海上火災及び油流出等の予防措置を行う	計画検討中である	—	防災主幹	○
					下期	海上災害予防計画の点検と関係機関及び部署との連携により、海上火災及び油流出等の予防措置を行う	点検の結果見直しの必要なし	○		
			69	所管官庁の取組についての情報を把握するとともに、必要に応じ対策の働きかけや協力を行う。	上期	北海道の海域水質調査結果を把握する	平成18年度の北海道の海域水質調査結果を把握した	◎	環境保全課	◎
					下期	北海道の海域水質調査結果を把握する	H18年度北海道の海域水質調査結果を環境白書に掲載した	◎		
			70	関係法令および協定に基づく、監視および規制、指導を行う。	上期	北海道の海域水質調査結果を把握する	平成18年度の北海道の海域水質調査結果を把握した	◎	環境保全課	◎
					下期	北海道の海域水質調査結果を把握する	H18年度北海道の海域水質調査結果を環境白書に掲載した	◎		
家庭や事業所での排水の汚濁に配慮し、下水処理の負担を軽減する	◎：4目標 ○：0目標 —：1目標 ×：0目標	◎	71	合流改善事業の計画的実施。	上期	雨水吐口に設置するスクリーンや管内貯留堰の検討を進める	実施設計を外注した	◎	(下) 計画課	◎
					下期	雨水吐口にスクリーンや管内貯留堰の設置を行うと共に、次年度の事業箇所を決定する	対策施設の設置を完了。次年度の事業箇所を決定した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			72	処理施設の見学会などを継続するとともに、学生によるインターシップの場を提供し、下水道への理解高揚を図る。	上期	市民に対し、下水道についての理解を深めるよう啓発に努める	小中学校で計15回の施設見学があった	◎	西町下水処理センター	◎
					下期	市民に対し、下水道についての理解を深めるよう啓発に努める	小学校などの団体で計4回の施設見学があった	◎		
			73	処理施設の見学会などを継続するとともに、学生によるインターシップの場を提供し、下水道への理解高揚を図る。	上期	学校等団体の要請のより、施設見学やインターシップの場を業務に支障のない範囲で提供する	小学校3校の施設見学があった	◎	高砂下水処理センター	◎
					下期	学校等団体の要請のより、施設見学やインターシップの場を業務に支障のない範囲で提供する	小学校1校の施設見学があった	◎		
			74	処理施設の見学会などを継続するとともに、学生によるインターシップの場を提供し、下水道への理解高揚を図る。	上期	学校等団体の要請により、施設見学やインターシップの場を業務に支障のない範囲で提供する	要請がなかった	—	勇払下水処理センター	—
					下期	学校等団体の要請により、施設見学やインターシップの場を業務に支障のない範囲で提供する	要請がなかった	—		
			75	可能な範囲内で、対象事業所等への立入調査、水質検査を実施し指導を行う。	上期	対象事業所等への立入調査を可能な範囲内で行う	昨年度の調査に基づき、調査、指導を行なった	◎	(下) 施設管理課	◎
					下期	対象事業所等への立入調査及び水質検査を可能な範囲内で行う	対象事業所の水質検査を実施。水質超過事業所に注意書を持参し清掃及び水質検査の実施を指導した	◎		

(施策) 安全な海の恵みを守る

安全な水産物の産地として、海洋資源の保全と育成に努める	◎：6目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	76	関係機関連携のもと、地元水産資源の情報把握・整理を行う。	上期	関係機関実施の資源調査に可能な範囲で協力を行なう	関係機関、漁協と共にホッキ漁の冬漁場東部海域を対象にホッキ貝の資源量調査を実施し、報告書が提出された	◎	農業水産課	◎
					下期	関係機関実施の資源調査に可能な範囲で協力を行なう	関係機関、漁協と共にホッキ漁の夏漁場東部海域を対象にホッキ貝の資源量調査を実施し、報告書が提出された	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			77	関係機関との連携のもと、関係法、条例、協定に基づく、監視、規制・指導の徹底し、河川の水質汚濁を防止する。	上期	北海道の河川海域の水質調査結果を把握する	平成18年度の北海道の河川水質調査結果を把握した	◎	環境保全課	◎
					下期	北海道の河川海域の水質調査結果を把握する	H18年度北海道の河川・海域の水質調査結果を環境白書に掲載した	◎		
			78	水産資源保護対策の一環として、漁業関係者や関係行政機関連携のもと不法投棄監視体制の整備検討を行う。	上期	関係機関で実施の不法投棄防止対策に可能な範囲で協力を行なう	関係機関、町内会と共に海岸清掃を行った	◎	農業水産課	◎
					下期	関係機関で実施の不法投棄防止対策に可能な範囲で協力を行なう	漁協と共に漁港区内の清掃・整理を実施した	◎		
			79	水源周辺の国有林について、関係機関との連携協力により、間伐実施や針広混交林への計画的移行を進め、機能充実を図る。	上期	実施予定なし	実施がなかった	◎	緑地公園課	◎
					下期	関係部署連携のもと、台風被害復旧や移行計画について、国有林野所在地市町村長協議会で要望を行う	10月の国有林野等所在市町村長有志協議会で要望を行った	◎		
			80	合流改善事業の計画的実施。	上期	合流式下水道の改善が進むよう、事業内容を検討する	事業計画の策定を完了した	◎	(下) 計画課	◎
					下期	合流式下水道の改善が進むよう、事業内容を検討する	平成20年度分の事業を予算化した	◎		
			81	資源育成のため、漁礁設置事業などを計画的に実施する。	上期	関係機関と連携・協力し、苫小牧海域における今年度の魚礁の設置場所及び接地形態等を協議する	道の漁礁設置工事に伴う工事現場の土地借用の協議を実施した	◎	農業水産課	◎
					下期	関係機関と連携・協力し、魚礁の作製・設置作業を実施する	道が実施する水産基盤整備事業により、苫小牧市沖合い海域にFP漁礁175基及び鋼製漁礁4基を設置した	◎		

(施策) 多様な野生生物と一緒に生きられる豊かな環境をつくりだす

野生生物の生活圏となる森林の確保を図るなど、多様な生物と一緒に生きられる豊かな環境の整備に努める	◎ : 5目標 ○ : 0目標 一 : 2目標 × : 0目標	◎	82	関係行政機関や活動団体の調査研究結果の収集を行う。	上期	自然保護に有利な調査研究結果の収集を行う	毎月1回、日本野鳥の会からウトナイ湖周辺の自然観察や鳥類調査結果の収集を行った	◎	環境生活課	◎
					下期	自然保護に有利な調査研究結果の収集を行う	日本野鳥の会からウトナイ湖周辺の自然観察や鳥類調査結果の収集を行った	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			83	市民からの保全地区指定の申し出に対し、市自然環境保全条例に基づく検討を行うとともに、その結果の公表を行う。	上期	申し出の都度、検討を行う	保全地区指定の申し出はなかった	—	環境生活課	—
					下期	申し出の都度、検討を行う	保全地区指定の申し出はなかった	—		
			84	条例により開発規制及び指導を行う。	上期	条例の周知とともに、申請のあった都度、審査を行うとともに必要に応じ指導を行う	開発行為の申請が2件あり、審査、指導、許可を行った	◎	環境生活課	◎
					下期	条例の周知とともに、申請のあった都度、審査を行うとともに必要に応じ指導を行う	開発行為の申請が1件あり、審査、指導、許可を行った	◎		
			85	関係団体との連携のもと、飼い方のルール啓発指導を行う。	上期	ペットの飼い方に関する啓発の実施とともに、必要に応じ、飼い方の指導を行う	狂犬病予防接種のお知らせ、及びペットの飼い方の広報掲載と75件の苦情処理を行った	◎	環境生活課	◎
					下期	ペットの飼い方に関する啓発の実施とともに、必要に応じ、飼い方の指導を行う	狂犬病予防注射、ペットの飼い方の広報掲載、犬のしつけの冊子を作成し市民に配布と67件の苦情処理を行った	◎		
			86	所管官庁で実施する外来種の動植物の投棄及び放流などの防止対策に必要なに応じ協力を行う。	上期	所管官庁からの要請の都度、可能な範囲で協力を行う	要請はなかった	—	環境生活課	—
					下期	所管官庁からの要請の都度、可能な範囲で協力を行う	要請はなかった	—		
			87	所管官庁で実施する捕獲事業に協力をするとともに、市独自でもアライグマの捕獲を行う。	上期	所管官庁からの要請の都度、可能な範囲で協力を行うとともに、市民等からの通報等により市でアライグマの捕獲を行う	市及び市民により捕獲を行った	◎	環境生活課	◎
					下期	所管官庁からの要請の都度、可能な範囲で協力を行うとともに、市民等からの通報等により市でアライグマの捕獲を行う	市及び市民により捕獲を行った	◎		
			88	「自然ふれあい教室」の実施や、野生鳥獣保護センターでのイベントの開催などにより、自然とのふれあい方について学ぶ機会を提供する。	上期	啓発事業の実施	探鳥会を1回実施し、自然ふれあい教室を10回実施した	◎	環境生活課	◎
					下期	啓発事業の実施	市民水鳥探鳥会他野生鳥獣保護センターでの各種行事を実施した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価

（施策）自然観察会など自然とふれあい学ぶ機会の充実や人材活用を進める

地域の人材を活用した、地域や学校での自然とふれあい学ぶ機会の充実	◎：3目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	89	「自然ふれあい教室」の実施や、野生鳥獣保護センターでのイベントの開催などにより、自然とのふれあい方について学ぶ機会を提供する。	上期	啓発事業の実施	探鳥会を1回実施し、自然ふれあい教室を10回実施した	◎	環境生活課	◎
					下期	啓発事業の実施	市民水鳥探鳥会他野生鳥獣保護センターでの各種行事を実施した	◎		
			90	自然とふれあいながら環境保全の大切さを学習する機会を市民に提供する。	上期	自然ふれあい環境教室を夏休み中に実施する	8月6日（月）にアルテンでせせらぎスクールを実施し、38名の参加があった	◎	環境保全課	◎
					下期	上期の結果を環境省に報告する	10月29日（月）に道の環境生活部環境局をとおして、環境省に調査結果を報告した。環境省のHPにも掲載された	◎		
			91	リーダー養成事業（小5～高3）でサマーキャンプ・ウインターキャンプによる野外生活体験の実施。	上期	「サマーキャンプ」実施計画の策定及び開催	平成19年8月11日から12日に開催した	◎	青少年課	◎
					下期	「サマーキャンプ」実施計画の策定及び開催	平成20年1月12日から13日に開催した	◎		

（施策）自然とふれあい学ぶ場の拠点化やネットワーク化を推進する

自然とふれあい学ぶ場を作り、ネットワークで結ぶ	◎：2目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	92	地域や学校の参加により、学校敷地等公共施設の緑化を進める。	上期	市民植樹祭の実施や、町内会や学校への緑化支援の実施	5月に高丘森林公園内で第37回市民植樹祭を実施した。また、20町内会と2団体及び24小中学校に対し緑化樹木等の支援を実施した	◎	緑地公園課	◎
					下期	地域や学校からの要請に応じ技術支援や、相談の受付実施	要請はなかった	—		
			93	処理センターの上部空間や場内空間の緑化推進を図り、自然とふれあい場として開放を行う。	上期	定期的に芝刈を行い、パークゴルフ場や子供の遊び場として随時開放を行い自然とふれあう場を提供する	多数の老人がパークゴルフに、多数の子供がサッカー、キャッチボールに開放場所を利用していた	◎	高砂下水処理センター	◎
					下期	定期的に芝刈を行い、パークゴルフ場や子供の遊び場として随時開放を行い自然とふれあう場を提供する	多数の老人がパークゴルフに、多数の子供がサッカー、キャッチボールに開放場所を利用していた	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価

(施策) ゴミになるものは買わず、適量購入の暮らしを実現してゴミの減量を図る

ゴミになるものを買わないようにし、使い捨ての生活様式を改めてゴミの減量を図る	◎：2目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	94	ごみの減量・分別とリサイクルの推進を図る。家庭系廃棄物の収集有料化の検討。	上期	検討実施	有料化を実施する前に、ごみの減量化、分別、リサイクルの推進を強化した	◎	清掃事業課	◎
					下期	検討実施	有料化を実施する前に、ごみの減量、リサイクル推進運動を全市的に強化した	◎		
			95	出前講座及びクリーン懇談会での啓発、市民からの照会対応実施。市内全域にゼロごみ大作戦の展開を行う。	上期	出前講座及びクリーン懇談会での啓発実施・市民からの照会対応実施	出前講座、クリーン懇談会の要望があり実施。また、市長出席のまちかどミーティングの開催で啓発を行い、市民からの相談はその都度対応した	◎	清掃事業課	◎
					下期	出前講座及びクリーン懇談会での啓発実施・市民からの照会対応実施	出前講座、クリーン懇談会、市内イベント会場、幼稚園等で啓発事業を実施。市民からの照会はその都度対応した	◎		
事業者・消費者・行政の連携によりゴミ発生抑制を進める	◎：1目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	96	ごみ排出抑制のための市民・事業者・行政による事業の推進を図る。	上期	ゼロごみ大作戦の取り組みに併せて、ノーレジ袋運動等の推進を図る	市やスーパーのイベントに併せて、ノーレジ袋運動等推進の呼びかけを5回実施した	◎	資源リサイクル推進室	◎
					下期	ゼロごみ大作戦の取り組みに併せて、ノーレジ袋運動等の推進を図る	10月のマイバック普及キャンペーンや11月の消費生活展でのマイバックコンテスト・オリジナルリトバックの作成、配布などによりノーレジ袋・マイバック持参運動の推進の呼びかけを実施。3月にノーレジ袋マイバック持参運動の懇談会を開催し、大型スーパーとノーレジ袋推進に向けた取組の協議を行った	◎		

(施策) 物を大切に使うことにより、ゴミの発生を抑制する

自分で作ったり修理する楽しみを暮らしに取り入れ、物を大切にすることを実践する	◎：2目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	97	自転車、家具等の手入れや修理方法などの知恵と技術を普及啓発するリサイクルプラザ講座を行う。	上期	家具、自転車の修繕や手入れ方法の講習を行う	リサイクルプラザ講座開催についての周知を行い、9月に1回講習会を実施した	◎	資源リサイクル推進室	◎
					下期	家具、自転車の修繕や手入れ方法の講習を行う	リサイクルプラザ講座開催についての周知を行い10, 11, 2, 3月に計4回講習会を実施した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			98	大型ごみとして排出されたなかから、簡易な修繕、整備により再生した家具、自転車等の展示、販売事業をリサイクルプラザで、行う。	上期	再生品の展示、販売を隔月で行う	再生品展示販売会を3回開催し、270点を展示、201点を販売した	◎	資源リサイクル推進室	◎
					下期	再生品の展示、販売を隔月で行う	再生品展示販売会を3回開催し、270点を展示、182点を販売した	◎		

（施策）ゴミの分別を徹底し、再生利用（リサイクル）による市場での循環を実現する

ゴミの分別の細分化と市場の形成により、ゴミが資源として循環する仕組みを実現する	◎：10目標 ○：0目標 －：0目標 ×：0目標	◎	99	コンポスト容器等購入助成を行う。	上期	コンポスト(堆肥化容器)等の購入費助成を行う	5月に市民周知し、コンポスト178個、電動生ごみ処理機25台の購入費助成を行った	◎	資源リサイクル推進室	◎
					下期	コンポスト(堆肥化容器)等の購入費助成を行う	コンポスト31個、電動生ごみ処理機6台の購入費助成を行った	◎		
			100	ダンボールコンポストの適切な使用方法と堆肥の活用方法を合わせて普及を図る。	上期	出前講座等の開催により、推進を図る	10回の出前講座を開催し、7団体、342名が参加。ダンボールコンポストの普及を図った	◎	資源リサイクル推進室	◎
					下期	出前講座等の開催により、推進を図る	3回の出前講座を開催し、3団体139名が参加。ダンボールコンポストの普及を図った	◎		
			101	下水道汚泥の緑農地還元を実施する。	上期	資源の循環利用のため、下水汚泥の緑農地還元、コンポスト化等に努める	汚泥肥料として適正な再生加工を行い、農地利用を図っている	◎	西町下水処理センター	◎
					下期	資源の循環利用のため、下水汚泥の緑農地還元、コンポスト化等に努める	汚泥肥料として適正な再生加工を行い、農地利用を図っている	◎		
			102	下水汚泥のコンポスト化を実施する。	上期	下水汚泥有効利用のためコンポストの増産につとめる	下水処理のコンポスト化を実施した	◎	勇払下水処理センター	◎
					下期	下水汚泥有効利用のためコンポストの増産につとめる	下水処理のコンポスト化を実施した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価		
			103	リサイクルを円滑に推進するため、資源物の出し方等について周知徹底を図る。	上期	広報「とまこまい」に掲載するとともに、クリーン懇談会に参加する	広報「とまこまい」5・7・8月号に掲載し、「ごみの減量・分別とリサイクル」、「古紙類等集団回収の協力」、「使用済割りばしリサイクル」についての啓発を行った。また、クリーン懇談会(8町内会)においてもリサイクルについて周知徹底を図った	◎	資源リサイクル推進室	◎
					下期	広報「とまこまい」に掲載するとともに、クリーン懇談会に参加する	広報とまこまい11, 1, 2, 3月号に掲載し「ペットボトルキャップ、割りばし回収」「家庭用廃食油のリサイクル」「エコスタ認定制度」「リサイクル設置助成」に係る啓発を行った。又クリーン懇談会(5団体)においてリサイクルについて周知徹底を図った	◎		
			104	集団回収実施等関係団体との連携を強め、情報提供を行う。	上期	苫小牧市資源リサイクル団体連絡協議会事務局を担うとともに、ニュース等を発行する	8月開催の資源リサイクル団体連絡協議会役員会に11名、総会に38団体が出席した。6月に「リサイクルニュース」を発行し、149登録団体に情報提供を行った	◎	資源リサイクル推進室	◎
					下期	苫小牧市資源リサイクル団体連絡協議会事務局を担うとともに、ニュース等を発行する	3月開催の資源リサイクル団体連絡協議会役員会に10名が出席した。11月に「リサイクルニュース」を発行し137登録団体に情報提供を行った	◎		
			105	出前講座及びクリーン懇談会での周知、市民からの照会対応等による意識向上。資源物の分別拡大の検討。	上期	出前講座及びクリーン懇談会での周知・市民からの照会対応	出前講座、クリーン懇談会の要望があり実施。また、市長出席のまちかどミーティングの開催で啓発を行い、市民からの相談はその都度対応した	◎	清掃事業課	◎
					下期	出前講座及びクリーン懇談会での周知・市民からの照会対応	出前講座、クリーン懇談会、市内イベント会場、幼稚園等で啓発事業を実施。市民からの照会はその都度対応した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			106	資源物対象品目拡大の検討を進める。	上期	容リ法に基づく品目拡大の実施の検討を行う	廃プラスチック類資源化実施計画策定業務委託を実施。計画書を作成中である	◎	資源リサイクル推進室	◎
					下期	容リ法に基づく品目拡大の実施の検討を行う	廃プラスチック類資源化施設積算書を策定、現在精査中	◎		
			107	既存受け入れ団体の情報を広く周知し、ごみの資源化を推進する。	上期	トレイ等資源物回収事業所、団体等との協議を進める	ノーレジ袋運動の取り組みに併せて、スーパーへのアンケート、及び聴取調査を実施した	◎	資源リサイクル推進室	◎
					下期	トレイ等資源物回収事業所、団体等との協議を進める	エコスタ認定制度の実施により資源物回収事業所についての調査、把握を行った	◎		
			108	再生品の利用促進のため、啓発を行う。	上期	再生品をリサイクルプラザ内に展示するとともに、販売会開催の周知を行う	再生品の展示販売会開催について、HP、広報「とまこまい」等を活用して、周知啓発を行った	◎	資源リサイクル推進室	◎
					下期	再生品をリサイクルプラザ内に展示するとともに、販売会開催の周知を行う	再生品の展示販売会開催について、HP、広報「とまこまい」等を活用して、周知啓発を行った	◎		

（施策）温室効果ガスの排出を減らす生活習慣を実現する

公共交通機関や自転車の利用促進のほか、日常での省エネルギーに努める	◎：6目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	109	新車導入時は可能な範囲内で低公害車への切り替えを行う。	上期	低公害車8台（ライトバン3台、軽自動車5台）とハイブリット車1台への切替を行う	低公害車8台（ライトバン3台、軽自動車5台）及び、ハイブリット車1台の切替を行った	◎	管財課	◎
					下期	低公害車8台（ライトバン3台、軽自動車5台）とハイブリット車1台への切替を行う	上期に年度計画を全て行った	◎		
			110	環境負荷の少ない車両について、市民、事業者へ情報提供を行う。	上期	環境負荷の少ない車両に関する情報の収集を行う	環境にやさしい自動車に関する情報（環境優位性、補助制度など）の情報を収集した	◎	環境保全課	◎
					下期	環境負荷の少ない車両に関する情報をHPに掲載する	当課HPの事業者向け環境情報（リンク集）に、環境負荷の少ない車両に関する情報を参照できるリンクを紹介した	◎		
			111	移動手段としての公用自転車を配備する。	上期	4月1日から公用自転車7台を配備する	公用自転車7台配備を継続した	◎	管財課	◎
					下期	11月30日まで公用自転車7台を配備する	公用自転車7台配備を継続した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価		
			112	公共交通機関や自転車の利用促進に向け、市職員の率先行動を推進する。	上期	「環境月間エコ通勤」を実施し、結果をHPに掲載する	6月の1ヵ月間「環境月間エコ通勤」を職員対象に実施し、結果を当課HPに掲載した	◎	環境保全課	◎
					下期	「冬のエコ通勤」を実施し、結果をHPに掲載する	12月以降通年をエコ通勤期間に改め、取組内容を当課HPに掲載した。また、強化月間（6月）のみ取組結果を把握することとした	◎		
			113	環境家計簿事業の推進を図る。	上期	希望者への配布及び出前講座などの普及事業での活用を行う	市民からの問い合わせなので、数10部配布した。出前講座等でも参考資料として順次活用している	○	環境保全課	○
					下期	希望者への配布及び出前講座などの普及事業での活用を行う	市民からの問い合わせなので数10部配布した。普及・促進を図るために、効果が一目でわかる換算表を作成し、関係各機関に配布した	○		
			114	家庭でできる省エネライフのすすめ（省エネ活動モニター）を実施する。	上期	家電製品ごとの使用電力量が電気料金が分かるエコワットをモニターに貸与し、省エネの啓発を実施	8～12月までの5ヶ月間25名がモニターとして登録し、活動を行っている。下期に取りまとめを行う	◎	環境保全課	◎
					下期	家電製品ごとの使用電力量が電気料金が分かるエコワットをモニターに貸与し、省エネの啓発を実施	21名から回答があり、期間中に約194kwhの節電、約4,300円の節約、約109kgのCO2排出削減につながった。結果は当課HPにも掲載した	◎		
			115	関係機関連携のもと、省エネ法の周知・指導を行う。	上期	建築確認申請時に同法の審査・指導及び助言を行い周知を図る	建築基準法の申請に伴う省エネ法（建築物の外壁や窓等を通しての熱損出の防止）による届出は3件あり、いずれも省エネ基準に適合していた	◎	建築指導課	◎
					下期	建築確認申請時に同法の審査・指導及び助言を行い周知を図る	建築基準法の申請に伴う省エネ法（建築物の外壁や窓等を通しての熱損出の防止）による届出は2件あり、1件は省エネ基準に適合、もう1件は審査中である	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価		
(施策) 家庭や地域レベルでの代替・自然エネルギーの導入										
地元産の天然ガスの利用拡大と、効率的なエネルギー使用により環境負荷の低減を図る	◎：1目標 ○：0目標 —：1目標 ×：0目標	◎	116	産官学民の連携により天然ガスの利用促進について検討を行う。	上期	「北海道天然ガス利用促進協議会」・「苫小牧天然ガス利用促進協議会」への参加・協力の実施	天然ガストラック普及促進セミナー開催に参加、後援を行った	◎	工業労政課	◎
					下期	「北海道天然ガス利用促進協議会」・「苫小牧天然ガス利用促進協議会」への参加・協力の実施	苫小牧ガス利用促進協議会の勉強会に参加した	◎		
			117	・国や団体が実施している支援制度のPRと共に、市民・事業者からの各種相談の対応を行う。 ・苫小牧市独自の支援制度の検討を行う。	上期	市民や事業者から相談のあった都度、対応を行うとともに、支援制度の検討を行う	市民や事業者からの相談はなかった	—	工業労政課	—
					下期	市民や事業者から相談のあった都度、対応を行う	市民や事業者からの相談はなかった	—		
化石燃料に替わる自然エネルギーの導入の促進を図る	◎：1目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	118	・国や団体が実施している支援制度のPRと共に、市民・事業者からの各種相談の対応を行う。 ・苫小牧市独自の支援制度の検討を行う。	上期	市民や事業者から相談のあった都度、対応を行うとともに、支援制度の検討を行う	北海道バイオ燃料地域協議会の設立、及び開催に協力、参加を行った	◎	工業労政課	◎
					下期	市民や事業者から相談のあった都度、対応を行う	木質ペレット利用促進セミナー開催に参加、及び後援を行った	◎		
			119	住宅への自然エネルギー普及を考慮に入れた、リフォーム支援制度(利子補給)のPRを行う。	上期	リフォーム支援事業対象者へその都度周知を行う	市広報、新聞等で住宅リフォーム支援事業について周知を行った。住宅への自然エネルギーを取り入れた温水パネル等の融資はなかった	○	建築指導課	○
					下期	リフォーム支援事業対象者へその都度周知を行う	市広報、新聞等で住宅リフォーム支援事業について周知を行った。住宅への自然エネルギーを取り入れた温水パネル等の融資はなかった	○		

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価

（施策）健康に配慮した安全な食材の確保

近隣市町を含めた産地と消費地の交流システムを構築し、有機栽培、旬の食材など安全な食材の積極的な利用を図る	◎：3目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	120	関係行政機関や農協、地元スーパーなどとの連携・協力により、「北のクリーン農業」の推進とともに、クリーン農産物の流通を促進する。	上期	所管の北海道や農協からの要請の都度、可能な範囲内で協力を行なう	広域農協主催の農業振興対策協議会会議に出席。「農業フェア」、「フラワーフェスタ」等に積極的に後援、参加し、クリーン農業、地産地消を推進した	◎	農業水産課	◎
					下期	地元農協からの要請の都度、可能な範囲内で協力を行なう	11月に広域農協主催の「食と農を考えるフォーラム」に後援・参加し、クリーン農業を推進した	◎		
			121	「ふるさと農園事業」の推進とともに、学習体験の場として、学校や町内会への優先開放を行う。	上期	ふるさと農園事業を行い、老人、子供会を優先に割り当てを行う	257区画に対し、追加受付を含め269人の申込みがあった。その内、高齢者129人に区画を優先的に割り当て、子供会等の3団体にも区画を優先して割り当てた	◎	農業水産課	◎
					下期	農園閉園まで有効利用を農園利用者に働きかける	11月末日の閉園まで有効利用を働きかけることが出来た	◎		
			122	遊休農地の実態把握を行い、体験農園としての活用実現可能性の検討を行う。	上期	検討の実施	農業委員会で遊休農地の調査を行ったが、体験農園として活用できる遊休農地はなかった	◎	農業水産課	◎
					下期	実施予定なし	計画通り	—		

（施策）人の健康と生活環境を守る適正な対策を進める

有害と疑われる物質の利用・排出の削減を図り、適正管理する	◎：3目標 ○：0目標 —：2目標 ×：0目標	◎	123	関係機関連携のもと、シックハウスを未然に防止するための対策を行う。	上期	シックハウスの原因となる化学物質の室内濃度を下げため、建築物に使用する建材や換気設備に関して法に基づく規制・指導を行う	建築申請時に「化学物質に対する衛生上の措置チェックリスト」を添付し、法に基づく規制指導を行い、完了検査時にも確認、指導した	◎	建築指導課	◎
					下期	シックハウスの原因となる化学物質の室内濃度を下げため、建築物に使用する建材や換気設備に関して法に基づく規制・指導を行う	建築申請時に「化学物質に対する衛生上の措置チェックリスト」を添付し、法に基づく規制指導を行い、完了検査時にも確認、指導した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況										
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価				
			124	有害大気汚染物質による大気汚染の状況把握のため調査を実施し公表する。	上期	調査実施及び結果公表	環境基準等設定項目について調査し(14項目)、結果はすべて問題なく、市環境白書等で公表する	◎	環境保全課	◎			
					下期	調査実施及び結果公表	環境基準等設定項目について調査し(14項目)、結果はすべて問題なく、20年市環境白書で公表する	◎					
			125	市内の有害化学物質の排出・移動と適正管理に関する情報を収集し、提供を行う。	上期	市民等からの要請の都度、関係機関との連絡調整を行い、情報を提供する	市民からの要請はなかった	—	環境保全課	—			
					下期	市民等からの要請の都度、関係機関との連絡調整を行い、情報を提供する	市民からの要請はなかった	—					
			126	関係機関と連携の下、事業者に対し、P R T R制度、MSDS制度の周知を行う。	上期	関係機関との連絡調整	連絡調整を必要とする業務はなかった	—	環境保全課	—			
					下期	関係機関との連絡調整	連絡調整を必要とする業務はなかった	—					
			127	アスベストに関する市民等からの相談の受付対応と、必要に応じ情報の提供を行う。	上期	市民・事業者の相談、情報提供	市民からアスベストに関する相談が4件あり、適切に回答し了承を得た	◎	環境保全課	◎			
					下期	市民・事業者の相談、情報提供	市民からアスベストに関する相談が2件あり、適切に回答し了承を得た	◎					
			安全・安心な環境を未来世代に継承する	◎：0目標 ○：0目標 —：1目標 ×：0目標	—	128	市民も参加する企業立地審議会において、市民の意見を取り入れながら、調査審議を行う。	上期	条例に該当する工場等の新增設がある場合、市民も参加する審議会において、調査審議を行う	条例に該当する工場等の新たな増設はなかった	—	空港港湾課	—
								下期	条例に該当する工場等の新增設がある場合、市民も参加する審議会において、調査審議を行う	条例に該当する工場等の新たな増設はなかった	—		

(施策) 公害のない安心できる暮らしの創造

様々な公害に対する基準等の遵守はもとより、自主基準による抑制対策を講じる	◎：4目標 ○：0目標 —：2目標 ×：0目標	◎	129	新規に協定を締結又は改定の際、関係機関との連携及び事業者との協議のもと、新たな規制物質の追加等の検討を行う。	上期	協定改定及び新規締結の都度、検討実施	2社新規に締結し、ダイオキシン類について検討後追加した。 1社公害防止協定を解除した	◎	環境保全課	◎
					下期	協定改定及び新規締結の都度、検討実施	1社新規に締結し、1社公害防止協定を解除した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価		
			130	関係機関との連携のもと、各発生源や一般環境の監視と、関係法、条例に基づく指導を行う。	上期	常時監視の実施、法及び協定に基づく立入調査実施	公害防止協定締結8企業に対し立入調査を実施した。一般環境10局で7工場20施設の大気汚染常時監視を実施し、18工場で立入調査等を実施した。一般環境調査を実施した	◎	環境保全課	◎
					下期	常時監視の実施、法及び協定に基づく立入調査実施	大気汚染常時測定を市内10カ所、一般環境騒音調査を市内6カ所で行った。公害防止協定10企業、大気汚染届出50事業所、騒音・振動届出14事業所に対し、立入調査等を実施した	◎		
			131	航空機騒音監視の徹底と、必要に応じて空港設置者及び発生源に対する要請や住民への情報提供ならびに関係機関との調整を行う。	上期	常時監視と住民への情報提供実施、必要に応じ関係機関への対策要請を行う	常時監視の実施と住民への情報提供を実施した	◎	環境保全課	◎
					下期	常時監視と住民への情報提供実施、必要に応じ関係機関への対策要請を行う	常時監視の実施と住民への情報提供を実施し、関係機関へ対策を要請した	◎		
			132	自動車騒音状況の悪化や苦情発生等がある場合、関係機関への働きかけを行う。	上期	調査を行い、状況悪化や苦情があった際、必要に応じ道路管理者等に対策を要請する	市内の主要道路9カ所で自動車騒音状況の調査を実施した。結果は下期にとりまとめる。なお、自動車騒音に関する苦情は発生しなかった	◎	環境保全課	◎
					下期	調査を行い、状況悪化や苦情があった際、必要に応じ道路管理者等に対策を要請する	市内の主要道路9カ所で自動車騒音状況の調査を実施し、結果を関係機関に周知するとともにHPに掲載した。なお、自動車騒音に関する苦情は発生しなかった	◎		
			133	関係機関との連携協力のもと、市内主要道路の低騒音舗装を計画的に進める。	上期	関係機関との連携のもと市内主要道路の騒音・振動の防止及び関係機関協議への参加と連携の強化	対象路線がなかった	—	道路建設課	—
					下期	関係機関との連携のもと市内主要道路の騒音・振動の防止及び関係機関協議への参加と連携の強化	対象路線がなかった	—		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			134	苦小牧市企業立地審議会条例に基づき、同審議会において審議を行う。	上期	条例に該当する工場等の新增設がある場合、市民も参加する審議会において、調査審議を行う	条例に該当する工場等の新增設はなかった	—	空港港湾課	
					下期	条例に該当する工場等の新增設がある場合、市民も参加する審議会において、調査審議を行う	条例に該当する工場等の新增設はなかった	—		—

(施策) だれもが安心して暮らせるまちづくり

誰もが安心して生活できるように、バリアフリーの考えに基づいて生活空間を整備する	◎：2目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	135	バリアフリー整備の際、事前に障害者等関係者から意見を聴取する。	上期	要望や相談の受付とともに、施設整備の際、必要に応じて意見聴取を行なう	オストメイト用トイレの設置の際、関係する障害者団体等の意見や現地において、概要説明を行い、意見等を反映した	◎	社会福祉課	◎
					下期	要望や相談の受付とともに、施設整備の際、必要に応じて意見聴取を行なう	下期実施のバリアフリー整備について、関係する障害者団体等の意見や現地において、概要説明を行い、意見等を反映した	◎		
			136	「福祉のまちづくり推進計画」に基づき公共施設バリアフリー化事業を実施する。	上期	福祉のまちづくり条例及び福祉のまちづくり推進計画の周知実施	条例、及び計画全文を課のHPに掲載。計画、及びバリアフリーマップを窓口で配布した	◎	社会福祉課	◎
					下期	公共施設バリアフリー化事業の実施及び次年度事業検討	19年度バリアフリー化事業を実施した。事業としては、温水洗浄装置付トイレの設置、トイレの様式化などを予算化した	◎		
			137	「道路の構造基準」によりバリアフリーを考慮した整備を推進する。	上期	広い歩道を新たに整備するときには可能な範囲内で人にやさしいまちづくりに心がける	対象路線について施工した	○	道路建設課	○
					下期	広い歩道を新たに整備するときには可能な範囲内で人にやさしいまちづくりに心がける	継続中であつた対象路線において勾配を緩やかにした歩道の施工をした	○		
過去の教訓を活かし、災害に強い街づくりを進める	◎：1目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	138	関係機関との連携のもと「苦小牧市地域防災計画」の点検・見直しを必要に応じて行うとともに、その結果を公表する。	上期	必要に応じ「苦小牧市地域防災計画」の点検・見直しを行う	計画検討中である	—	防災主幹	○
					下期	必要に応じ「苦小牧市地域防災計画」の点検・見直しを行う	点検の結果、見直しの必要なし	○		
			139	関係部署連携のもと、一時避難場所、広域避難地、防災拠点となる公園の整備を計画的に進める。	上期	日の出公園の整備実施	実施した	◎	緑地公園課	◎
					下期	日の出公園の整備実施	実施した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価

（施策）歴史的たたずまいを保全し、新たな活用を組み込んだ景観づくり

苦小牧らしい個性を感じさせる都市景観を市民参加のもとで形成する。	◎：1目標 ○：0目標 －：0目標 ×：0目標	◎	140	関連施設や団体との連携のもと、郷土学習の機会の充実を図る。	上期	学習情報の収集に努め生涯学習便り等で、市民に情報の提供を行う	生涯学習便りやHPで収集した情報の提供を行うとともに関連施設と連携しながら郷土学習の機会を設けている	◎	生涯学習課	◎
					下期	学習情報の収集に努め生涯学習便り等で、市民に情報の提供を行う	生涯学習便りやHPで収集した情報の提供を行うとともに関連施設と連携しながら郷土学習の機会を設けている	◎		

（施策）地域に根ざした建物を大切にし、人の暮らしの似合う町を創造する

市民参加のもとで、うまい・やさしい・感じられる景観づくりを進める	◎：1目標 ○：0目標 －：0目標 ×：0目標	◎	141	都市計画課ホームページ等により苦小牧市の景観資源についての情報収集を行い、今後の都市景観づくりの基礎資料とする。	上期	都市計画課ホームページに「景観情報コーナー」を設け、苦小牧市の景観資源について情報収集を行う	当課HPに掲載し、情報収集を行った	◎	都市計画課	◎
					下期	都市計画課ホームページに「景観情報コーナー」を設け、苦小牧市の景観資源について情報収集を行う	当課HPに掲載し、情報収集を行った	◎		

（施策）産官学民の連携により循環型社会を構築する

さまざまな連携よりゼロエミッションを進める	◎：2目標 ○：0目標 －：0目標 ×：0目標	◎	142	建設リサイクル法の周知と指導を行う。	上期	同法による全国一斉パトロールを5月中頃に実施し指導を行う	5月23日に実施したパトロールで33件の解体等の現場における違反はなかった。週2回の完了検査業務と併せてパトロールも行っている	◎	建築指導課	◎
					下期	同法による全国一斉パトロールを10月頃に実施し指導を行う	10月16日に実施したパトロールで35件の解体等の現場における違反はなかった。週2回の完了検査業務と併せてパトロールも行っている	◎		
			143	環境保全活動に関する助成など支援制度の情報を収集し、提供を行う。	上期	環境保全活動に関する助成制度等の情報を収集する	助成制度に関する情報（新エネルギー、省エネルギー）の情報を収集した	◎	環境保全課	◎
					下期	環境保全活動に関する助成制度等の情報をHPに掲載する	当課HPの事業者向け環境情報（リンク集）に、新エネルギー・省エネルギー関連助成制度に関する情報を参照できるリンクを紹介した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
苫小牧と周辺地域を含めた、生産者と流通業者、消費者、行政による、広域地産地消を推進する	◎：4目標 ○：0目標 一：0目標 ×：0目標	◎	144	地場生産物や技術利用促進のため産官学民による連携体制を整備する。	上期	「東胆振地域産学官連携推進連絡会議」・「次世代型グリーンビジネス道央ベルト構築事業」への参加や協力を行う	苫小牧地域ものづくり産業振興のための産学官連携事業への協力、及び参加を行った	◎	工業労政課	◎
					下期	「東胆振地域産学官連携推進連絡会議」・「次世代型グリーンビジネス道央ベルト構築事業」への参加や協力を行う	苫小牧地域ものづくり産業振興のための産学官連携事業への協力、及び参加を行った	◎		
			145	地場生産物や技術利用促進のため産官学民による連携体制を整備する。	上期	北海道や漁組、農協主催で関連する会議があった場合の参加とともに、 possible の範囲で事業協力の実施	8月26日開催された広域農協主催の「第7回とまこまい広域農業フェア」後援、実施した。また、市の貝「ホッキ貝」の消費拡大を図るホッキフェスタ実行委員会に参加した	◎	農業水産課	◎
					下期	北海道や漁組、農協主催で関連する会議があった場合の参加とともに、 possible の範囲で事業協力の実施	11月に広域農協主催の「食と農を考えるフォーラム」に後援・参加した	◎		
			146	地場の生産物や技術の情報収集を行い、広く発信する。	上期	実施予定なし	実施がなかった	◎	工業労政課	◎
					下期	「企業データブック(建設業等)」・「協同組合等の概況」の作成	企業データブック(建設業等)、協同組合等の概況の作成を行った	◎		
			147	地場の生産物の情報収集を行い、広く発信する。	上期	樽前交流センター等での交流事業の実施や、市の貝ブランド化を推進し、広く地場生産物の情報発信を行う	樽前交流センターで「栽培教室」が開講されており、樽前地区以外の市民が利用し、都市部との交流促進が図られた。また、「苫小牧産ホッキ貝」が地域団体商標登録されたため、ブランド化の推進に向けて事業を実施した	◎	農業水産課	◎
					下期	樽前交流センター等での交流事業の実施や、市の貝ブランド化を推進し、広く地場生産物の情報発信を行う	樽前交流センターで「栽培教室」が開講されており、樽前地区以外の市民が利用し、都市部との交流促進が図られた。また、「苫小牧産ホッキ貝」が地域団体商標登録されたため、ブランド化の推進に向けて事業を実施した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
(施策) 環境負荷の少ないエネルギーへの転換を進める										
太陽光や風力などの自然エネルギーや、天然ガスの利用促進を図る	◎：3目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	148	市内事業者に対し、新エネルギーや効率的なエネルギー使用の普及に向けた情報を提供する。	上	新エネルギーや効率的なエネルギー使用についての情報を収集する	新エネルギー、省エネルギーに関する情報を収集した	◎	環境保全課	◎
					下	新エネルギーや効率的なエネルギー使用についての情報をHPに掲載する	当課HPの事業者向け環境情報（リンク集）に、新エネルギー・省エネルギーに関する情報を参照できるリンクを紹介した	◎		
			149	国や団体が実施している支援制度のPRと共に、市民・事業者からの各種相談の対応を行う。	上	市民や事業者から相談のあった都度、対応を行う	北海道バイオ燃料地域協議会の設立、及び開催に協力、参加を行った	◎	工業労政課	◎
					下	市民や事業者から相談のあった都度、対応を行う	市民から住宅用太陽光発電設備について補助金の相談があり対応した	◎		
			150	下水汚泥処理過程で発生する消化ガス（メタンガス）をガス発電設備の燃料として利用する。また、このことを先進事例として広く紹介する。	上	消化ガス（メタンガス）をガス発電設備の燃料として積極的に利用し、このことを先進事例として広く紹介する	消化ガス（メタンガス）により発電し、このことを広く紹介している	◎	西町下水処理センター	◎
					下	消化ガス（メタンガス）をガス発電設備の燃料として積極的に利用し、このことを先進事例として広く紹介する	消化ガス（メタンガス）により発電し、このことを広く紹介している	◎		
地域特性にあったエネルギーやエネルギーの効率的な利用についての研究、開発を産官学民の協力で進める	◎：1目標 ○：0目標 —：1目標 ×：0目標	◎	151	市役所内部の推進体制を整備し、地域新エネルギービジョンの具体的推進を図る。	上	新エネルギー利用促進連絡会議を開催する	民間団体の「自然エネルギー研究会」と新エネルギー連絡会とによる懇談会を開催し、エネルギー活用等について意見交換を行った	◎	工業労政課	◎
					下	新エネルギー利用促進連絡会議を開催する	新エネルギー利用促進連絡会議を開催した	◎		
			152	産官学民の連携により、地域特性にあった環境負荷の少ないエネルギーについての調査研究を行う。	上	各団体のセミナー等に参加し、調査研究を行う	セミナー等の参加はなかった	—	空港港湾課	—
					下	各団体のセミナー等に参加し、調査研究を行う	セミナー等の参加はなかった	—		

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価

（施策）地場の技術を集積した環境産業の育成・振興

地場技術の集積により環境保全に貢献できる技術を開発し、広く発信する	◎：2目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	153	地場技術の情報把握し、PRを行う。	上期	実施予定なし	実施がなかった	◎	工業労政課	◎	
					下期	「企業データブック（建設業等）」・「協同組合等の概況」の作成	企業データブック（建設業等）、協同組合等の概況の作成を行った				◎
			154	テクノセンターや高専など、研究受入施設や相談体制の情報を広く発信する。	上期	「苫小牧テクノセンターニュース」の発行 「苫テク情報サービス」のメール発信	テクノセンターニュースを発行し、苫テク情報サービスのメール発信を行った	◎	工業労政課		◎
					下期	「苫テク情報サービス」のメール発信	苫テク情報サービスのメール発信を行った	◎			

（施策）人と自然にやさしい身近に生活できるまちづくり

人にも環境にもやさしい、歩いて暮らせる地域づくりを実現する	◎：0目標 ○：0目標 —：2目標 ×：0目標	—	155	都市計画課ホームページや市民情報コーナー等を活用し、地域別のまちづくり構想について、より一層の市民周知を図るとともに、「都市計画提案制度」による市民・事業者の自発的・自主的なまちづくりの取り組みに対する支援、誘導を行う。	上期	「都市計画提案制度」に基づく提案を受けた場合、対応を図る	「都市計画提案制度」に基づく提案はなかった	—	都市計画課	—	
					下期	「都市計画提案制度」に基づく提案を受けた場合、対応を図る	「都市計画提案制度」に基づく提案はなかった				—
			156	未利用市有地や施設の利用に関する市民からの要請・要望に対して、可能な範囲内の協力を行う。	上期	市民等からの要請の都度、対応を行う	要請はなかった	—	管財課		—
					下期	市民等からの要請の都度、対応を行う	要請はなかった				

（施策）船舶や鉄道による大量輸送システムを推進する

旅客や物流などによる環境負荷の低減を図る	◎：3目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	157	「グリーン物流パートナーシップ会議」について、事業者への情報提供を行う。	上期	「グリーン物流パートナーシップ会議」についての情報を収集する	「グリーン物流パートナーシップ会議」について、概要及び会員登録等に関する情報を収集した	◎	環境保全課	◎
					下期	「グリーン物流パートナーシップ会議」についての情報をHPに掲載する	当課HPの事業者向け環境情報（リンク集）に、グリーン物流パートナーシップ会議に関する情報を参照できるリンクを掲載した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			158	関係機関連携・協力のもと、港湾整備を計画的に行う。	上期	国や道に対し、港湾整備事業の促進を働きかける	全国市長会港湾都市協議会に参加し、国に対し港湾整備の促進に関する要望を行った	◎	空港港湾課	◎
					下期	国や道に対し、港湾整備事業の促進を働きかける	特に活動は行われなかった	—		
			159	関係機関連携・協力のもと、埠頭から主要道間の道路を計画的に整備する。	上期	国や道に対し、港湾整備事業の促進を働きかける	全国市長会港湾都市協議会に参加し、国に対し港湾整備の促進に関する要望を行った	◎	空港港湾課	◎
					下期	国や道に対し、港湾整備事業の促進を働きかける	特に活動は行われなかった	—		
環境負荷低減のため、道路環境の整備・改善や、低公害車の普及を図る	◎：2目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	160	低公害車や低排出ガス車について、市民、事業者への情報提供を行う。	上期	低公害車や低排出ガス車についての情報を収集する	低公害車や低排出ガス車に関する情報（環境優位性、補助制度など）を収集した	◎	環境保全課	◎
					下期	低公害車や低排出ガス車についての情報をHPに掲載する	当課HPの事業者向け環境情報（リンク集）に、低公害車や低排出ガス車に関する情報を参照できるリンクを紹介した	◎		
			161	植樹帯の伴う市内主要道路新設時は、街路樹を計画的に植栽し、大気汚染や騒音等の緩衝機能のための緑化を推進する。	上期	植樹帯新設時に大気汚染や騒音等の緩衝機能のための植栽を行う	植栽の対象となる路線は無かった	—	道路建設課	○
					下期	植樹帯新設時に大気汚染や騒音等の緩衝機能のための植栽を行う	2路線において植栽を行い、うち1路線は継続中である	○		
			162	既存街路樹及び緑地帯の維持管理を計画的に行い、大気汚染や騒音等の緩衝機能を維持する。	上期	既存街路樹や緑地帯の維持管理の実施	良好な景観を保つよう生垣の刈込みや除草を主体に実施した	◎	緑地公園課	◎
					下期	既存街路樹や緑地帯の維持管理の実施	良好な景観を保つよう高木の剪定を実施した	◎		
航空機騒音の低減を図る	◎：1目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	163	航空機騒音監視の徹底と、必要に応じて空港設置者及び発生源に対する要請や住民への情報提供ならびに関係機関との調整を行う。	上期	常時監視と住民への情報提供実施、必要に応じ関係機関への対策要請を行う	常時監視の実施と住民への情報提供を実施した	◎	環境保全課	◎
					下期	常時監視と住民への情報提供実施、必要に応じ関係機関への対策要請を行う	常時監視の実施と住民への情報提供を実施し、関係機関へ対策を要請した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価

(施策) 事業所での環境マネジメントシステム導入の推進

多様な組織に対応した環境マネジメントシステムの普及を進める	◎：2目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	164	推進会議や関係機関との連携により、環境マネジメントシステムの普及を行う。	上期	低公害車や低排出ガス車についての情報をHPに掲載する	推進会議でエコアクション21説明会を企画した。下期に開催する予定	◎	環境保全課	◎
					下期	推進会議との連携により、説明会等普及活動を実施する	11月28日にエコアクション21説明会を推進会議とエコアクション21地域事務局北海道の主催で開催し、18名の参加があった	◎		
			165	環境マネジメントシステムの審査員制度について、市民への情報提供を行う。	上期	市ホームページにより、環境マネジメントシステムについて、市民へ情報提供を行う	環境マネジメントシステム（ISO14001、EA21）の審査員制度に関する情報を収集した。情報提供は下期に行う	○	環境保全課	○
					下期	市ホームページにより、環境マネジメントシステムについて、市民へ情報提供を行う	当課HPの事業者向け環境情報（リンク集）に、各種環境マネジメントシステム及び審査員に関する情報を参照できるリンクを紹介した	◎		
			166	協定締結企業の協定履行についてEMSを活用した監視・指導の検討を行う。	上期	協定立入に於いて、環境報告書の提示があった場合、チェックを行い、必要に応じ対策の申し出を行う	環境報告書の提示のあった事業所すべてに対しチェックを実施した。しかし、対策の申し出を必要とする事業所はなかった	◎	環境保全課	◎
					下期	協定立入に於いて、環境報告書の提示があった場合、チェックを行い、必要に応じ対策の申し出を行う	環境報告書の提示のあった事業所すべてに対しチェックを実施した。しかし、対策の申し出を必要とする事業所はなかった	◎		

(施策) 生涯学習のなかで、環境学習を推進する

自分たちが自然の一員であり、自然とのつながりの中で支え合って生活していることを学び、暮らしの中で、環境保全についての基本的な知識や地域住民としての役割意識を学ぶ	◎：1目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	167	地域での環境学習推進への協力を行う。	上期	生涯学習便り等で環境学習の情報の提供を行うとともに、市民からの相談を関係部署に取り次ぐ	生涯学習便りやHPで収集した情報の提供を行うとともに市民からの相談事項に即した関係部署への取り次ぎを行った	◎	生涯学習課	◎
					下期	生涯学習便り等で環境学習の情報の提供を行うとともに、市民からの相談を関係部署に取り次ぐ	生涯学習便りやHPで収集した情報の提供を行うとともに市民からの相談事項に即した関係部署への取り次ぎを行った	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況						
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価	

（施策）学校教育のなかで、環境学習を推進する

学校教育の中で、自然の一員であり、自然とのつながりの中で支え合って生きていくことを学ぶ	◎：2目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	168	学校、地域、社会など幅広い場における環境教育を推進するため、出前講座を実施する。	上期	学校や関連施設での出前講座を実施する	5回実施し、380人の市民が受講した	◎	環境保全課	◎
					下期	学校や関連施設での出前講座を実施する	4回実施し、120人の市民が受講した	◎		
			169	市内各小中学校における教育活動の中で、「環境教育」の推進における具体的方策の検討。	上期	環境部局と連携し検討を行う	学校経営訪問等の機会において、適切な指導、助言を行った	◎	指導室	◎
					下期	環境部局と連携し検討を行う	各学校に対して総合的な学習の時間の在り方等について指導・助言を行った	◎		
			170	学校版ISOの検討および導入にあたり、主管部局の要請に応じ協力を行う。	上期	主管部局の要請に対し、可能な範囲内で協力を行う	平成19年度「キッズISO14000プログラム事業」の2次募集について各学校に周知した	○	学) 総務課	○
					下期	主管部局の要請に対し、可能な範囲内で協力を行う	平成20年度「キッズISO14000プログラム事業」の募集について各学校に周知した	○		

（施策）市民参加システムの構築

苫小牧市環境基本計画推進会議において、環境基本計画の進行管理を行う。	◎：1目標 ○：0目標 —：1目標 ×：0目標	◎	171	協力要請に応じ、可能な範囲内で推進会議への参加・協力を行う。	上期	推進会議の協力要請に対し、可能な範囲内で協力を行う	協力要請はなかった	—	全部署	—
					下期	推進会議の協力要請に対し、可能な範囲内で協力を行う	協力要請はなかった	—		
			172	進行管理を進めるうえで、行政の行動指針がどの担当部署なのか再確認を行う。	上期	担当部署への確認調査を実施する	ISOサイト外も含めた担当部署の精査を実施した。下期において各担当部署に確実な実施の依頼を行う	◎	環境保全課	◎
					下期	担当部署へ再確認させる	ISOサイト内の担当部署には、環境側面の追加を依頼した。ISOサイト外の担当部署には、環境基本計画に掲げる関連部分の確実な実施を要請した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
まちづくりに市民が参加する機会の拡充を図る	◎：2目標 ○：0目標 一：2目標 ×：0目標	◎	173	自治基本条例が制定されたので、市民参加条例の制定も含め、市民参加の手法や仕組み、情報提供のあり方等について検討を進める	上期	自治基本条例の市民周知のため、各種事業に取り組むとともに、市民参加制度検討のための市民会議を開催する	自治基本条例制定記念事業を実施するなど市民周知に取り組むとともに、市民参加フォーラムを開催するなど市民参加の検討を進めた	◎	企画課	◎
					下期	自治基本条例の市民周知のため、各種事業に取り組むとともに、市民参加制度検討のための市民会議を開催する	市民自治推進会議を開催し、自治基本条例の取組を進めるとともに、市民ワークショップを開催し、市民参加制度の検討を進めた	◎		
			174	環境に影響が想定される事業実施及び計画策定の際、法や条例等既存制度に基づき、市民意見反映等の対応を行う。	上期	その都度、関係部署連携のもと対応を行う	該当する事業や計画策定はなかった	—	空港港湾課	—
					下期	その都度、関係部署連携のもと対応を行う	該当する事業や計画策定はなかった	—		
			175	法、条例等に基づく環境影響評価や広告縦覧の実施について周知を行う。	上期	廃棄物処理法に基づく縦覧を行う	廃棄物処理法に基づく縦覧手続きはなかった	—	環境保全課	—
					下期	廃棄物処理法に基づく縦覧を行う	下期に廃棄物処理法に基づく縦覧手続きはなかった	—		
			176	リーダー養成事業で子ども会議（小5～中2）を開催し、「まちづくり」に対する自由な発想や意見を出し合い、市政に対する関心を高めるとともに自主的に社会参加する青少年を育成する。	上期	「子ども会議」実施日程の検討及び決定	平成19年12月26日から平成20年2月2日（本会議）に実施を決定した	◎	青少年課	◎
					下期	「子ども会議」実施日程の検討及び決定	平成19年12月26日から平成20年2月2日（本会議）に実施した	◎		

（施策）市民、行政、事業者、専門機関などの間で、環境情報の共有を進める

市民参加促進のため、わかりやすい情報の提供・公開に努める	◎：2目標 ○：0目標 一：0目標 ×：0目標	◎	177	イントラネットに接続する端末等の整備を計画的に行う。	上期	端末等の利用状況調査を行う	9月に端末の導入状況を調査。更新の原案を作成した	◎	情報化推進室	◎
					下期	端末等の利用状況調査を行う	9月の全庁調査に基づき、翌年度更新分の予算要求を実施	◎		
			178	市のホームページにより、ISOの取組状況を公表する。	上期	市ホームページにより、前年度ISOの活動成果を公表する	平成19年6月に18年度分の活動成果を「環境目的・目標達成状況評価表」として公表した	◎	環境保全課	◎
					下期	市ホームページにより、前年度ISOの活動成果を公表する	19年版環境白書に活動成果を平成18年度「環境目的・目標達成状況評価表」として公表した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価

（施策）地元や周辺地域との連携づくり

市民・事業者・行政ならびに周辺地域との連携により、環境課題の解決を図る	◎：2目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	179	市内各小中学校の「環境教育」の推進に係わる、地域素材の活用や施設・事業所等との連携の在り方についての検討。	上期	環境部局と連携し検討を行う	学校経営訪問等の機会において、適切な指導、助言を行った	◎	指導室	◎
					下期	環境部局と連携し検討を行う	学校としてのねらいを明確にした環境教育を推進するよう働きかけた	◎		
			180	地域での環境学習推進への協力を行う。	上期	関連施設と連携し収集した情報を生涯学習便り等で提供する	関連施設と連携し情報収集を行い、生涯学習便りやHP等で情報提供を行った	◎	生涯学習課	◎
					下期	関連施設と連携し収集した情報を生涯学習便り等で提供する	関連施設と連携し情報収集を行い、生涯学習便りやHP等で情報提供を行った	◎		

（施策）国内外の他地域との連携づくり

国内外との交流により地球環境問題の影響実態を知り、連携により効果的な対策を進める	◎：2目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	181	こども国際交流事業（NZ派遣）の事前研修で苫小牧市の環境に対する取組み並びにNZにおける生態系保全の取組みについて説明の機会を設ける。	上期	事前研修において、苫小牧市の概要説明の際に、環境に対する取組みを入れる	第2回事前研修において、ISOの取組などについて説明を行った。同時にニュージーランドの取組についてもALT（講師）に触れてもらった	◎	国際交流主幹	◎
					下期	実施結果を振り返り、説明資料の点検と次年度に向けた準備を行う	中国における五輪に向けた環境への取組についての資料を取りまとめた	◎		
			182	国内外の先進的な環境対策事例について、関係部署への情報提供を行う。	上期	国内外の先進的な環境対策事例について情報を収集し、関係する部署に情報を提供する	国内外の先進的な環境対策事例について、情報を収集したが、他部署に提供するほどのものはなかった	○	環境保全課	○
					下期	国内外の先進的な環境対策事例について情報を収集し、関係する部署に情報を提供する	国内の下水処理や廃棄物処理に関する環境情報を、冊子又はコピーにより関係部署に提供した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価		
			183	市のホームページや環境白書により、環境基本計画の進捗状況を公表するとともに、企業が取り組む環境保全対策事例について、事業者への情報提供を行う。	上 期	環境基本計画の進捗状況や環境保全活動をホームページに掲載する	平成17年度までの環境基本計画の進捗状況については、環境白書及びHPに掲載済。企業の環境保全活動については、情報を収集した	◎	環境保全課	◎
					下 期	環境保全活動をホームページに掲載する 環境基本計画の進捗状況を環境白書に掲載する	平成18年度までの環境基本計画の進捗状況について環境白書及び当該HPに掲載した。また、事業者向け環境情報（リンク集）に、企業が行う環境保全活動に関する情報を参照できるリンクを紹介した	◎		